

# 化学

化学A	P-01-06-L
化学B	P-01-07-L
化学実習 I	P-01-19-T
化学実習 II	P-01-26-T
基礎化学	P-01-46-L

## オーガナイザー

教養・医学教育大講座 化学  
教授 茂里 康

## 教員名

教養・医学教育大講座 化学  
教授 茂里 康  
准教授 大町 遼

## I 授業の目的

物質の性質や反応を包括的に理解するために必要な考え方、すなわち化学の基礎を学び、医学専門教育に必要な化学的基礎知識及び化学的思考力を習得する。

## II 到達目標

### 基礎化学

1. 原子・分子・イオンと、化学結合・分子間力について説明できる。
2. 物質の状態変化について説明できる。
3. 気体の状態方程式について説明できる。
4. 溶解度、コロイド溶液について説明できる。
5. 酸・塩基の定義および pH について説明できる。
6. 酸化・還元反応の意味を説明できる。
7. 反応熱と熱化学方程式について説明できる。
8. 非金属元素の単体及び化合物の性質を説明できる。
9. 金属元素の単体及び化合物の性質を説明できる。
10. 有機化合物を分類し、その特徴を説明できる。

### 化学A

1. 国際単位系 (SI) の定義とその意義を説明できる。
2. SI 組立単位を説明できる。
3. 原子・分子の概念を説明できる。
4. 元素の周期律表を説明できる。
5. 電子の軌道を説明できる。
6. 定量分析・定性分析を説明できる。
7. 分光分析法を説明できる。
8. 各種機器分析法を説明できる。
9. 基本的な生体分子の機能について説明できる。
10. 反応速度論・酵素反応速度論を説明できる。

### 化学B

1. 化合物の命名法を説明できる。
2. 異性体について説明できる。
3. 化合物の構造式を書くことができる。
4. 化合物の立体構造について説明できる。
5. 付加、脱離、置換、転位反応等の概略を説明できる。
6. 官能基とその反応性について説明できる。
7. 生体分子の化学的な性質と反応性について説明できる。
8. 生体の主要および微量元素について主な役割を説明できる。

## III 教育内容

### 1. 講義項目と担当者

基礎化学 (I 期) 担当者 茂里 康

1. 物質の構造と状態
2. 物質の変化
3. 無機物質の分類と特徴

#### 4. 有機化合物の構造と特徴

化学A (I期) 担当者 茂里 康

1. 原子・分子の構造
2. 国際単位系(SI)
3. 分析化学(定量・定性分析)
4. 分析化学(臨床分析化学・分光分析)
5. 機器分析化学(質量分析法・NMR等)
6. 生体分子の機能

化学B (II期) 担当者 大町 遼

1. 化合物の命名法
2. 化合物の構造式と立体構造
3. 官能基と化学的性質
4. 生体分子の構造と反応
5. 生物の必須元素の役割

#### 2. 実習項目と担当者

化学実習 I (I期) 担当者 茂里 康

1. 実験の心得・実験の記録・計算
2. pH指示薬を用いた酸・塩基滴定
3. 可視吸収法による定性と定量1(ヘモグロビン)
4. アセチルサリチル酸の精製と純度確認(TLCと融点測定)
5. 化学関連ソフトを用いた検索1(構造生命科学実験1)
6. 化学関連ソフトを用いた描画1(ChemSketchによる描画1)

化学実習 II (II期) 担当者 茂里 康

1. 実験の説明
2. 中和滴定(インドメタシンの定量)
3. 可視吸収法による定性と定量2(食用色素)
4. 酢酸エチルの酸加水分解反応速度(中和滴定)
5. 化学関連ソフトを用いた検索2(構造生命科学実験2)
6. 化学関連ソフトを用いた描画2(ChemSketchによる描画2)

#### IV 学習および教育方法

講義：教科書はあらかじめ指定する。授業は基本的にはパワーポイントを用いて行い、理解を助けるために適宜演習を課す事がある。

実習：化学実習 I、IIとも、受講者全体を5グループに分けて、ローテート方式で実験を原則5テーマ行う。全てのテーマは1人あるいは2人1組で行う。

#### V 評価の方法

成績は、試験40%・レポート20%・出席態度20%・実習態度20%等により総合的に評価する。

なお出席については、原則2/3以上の出席を必須とする。2/3以上出席の無い者は、該当する試験を受ける事ができない。

#### VI 推薦する参考書

- 「化学実験安全ガイド」東京化学同人
- 「教養の化学・暮らしのサイエンス」東京化学同人
- 「マクマリー・生化学反応機構」東京化学同人
- 「化学系薬学・I. 化学物質の性質と反応」東京化学同人

#### VII オフィスアワー

茂里 康

水曜日 17:00~18:00

【連絡方法】yshigeri★wakayama-med.ac.jp

【実施場所】医学部・三葛教育棟



## 講義日程表 (基礎化学)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.4.11	(金)	1	原子・分子・イオン概論(1)	化学	茂里
2	R7.4.11	(金)	2	原子・分子・イオン概論(2)	化学	茂里
3	R7.4.25	(金)	1	化学エネルギー概論(1)	化学	茂里
4	R7.4.25	(金)	2	化学エネルギー概論(2)	化学	茂里
5	R7.5.2	(金)	1	化学結合概論(1)	化学	茂里
6	R7.5.2	(金)	2	化学結合概論(2)	化学	茂里
7	R7.5.9	(金)	1	金属元素概論	化学	茂里
8	R7.5.9	(金)	2	非金属元素概論	化学	茂里
9	R7.5.16	(金)	1	化学反応概論	化学	茂里
10	R7.5.16	(金)	2	有機化合物概論	化学	茂里
11	R7.5.23	(金)	1	生体分子概論(1)	化学	茂里
12	R7.5.23	(金)	2	生体分子概論(2)	化学	茂里

## 講義日程表(化学A)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.4.9	(水)	1	国際単位系(SI)(1)	化学	茂里
2	R7.4.16	(水)	1	国際単位系(SI)(2)	化学	茂里
3	R7.4.23	(水)	1	原子・分子・電子の概念(1)	化学	茂里
4	R7.5.7	(水)	1	原子・分子・電子の概念(2)	化学	茂里
5	R7.5.14	(水)	1	原子・分子・電子の概念(3)	化学	茂里
6	R7.5.21	(水)	1	定量分析・定性分析(1)	化学	茂里
7	R7.5.28	(水)	1	定量分析・定性分析(2)	化学	茂里
8	R7.6.4	(水)	1	分光分析法(1)	化学	茂里
9	R7.6.11	(水)	1	分光分析法(2)	化学	茂里
10	R7.6.18	(水)	1	機器分析法・生体分子機能(1)	化学	茂里
11	R7.6.25	(水)	1	機器分析法・生体分子機能(2)	化学	茂里
12	R7.7.2	(水)	1	反応速度論・酵素反応速度論(1)	化学	茂里
13	R7.7.9	(水)	1	反応速度論・酵素反応速度論(2)	化学	茂里
14	R7.7.16	(水)	1	反応速度論・酵素反応速度論(3)	化学	茂里

## 講義日程表 (化学B)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.9.17	(水)	1	結合と構造式	化学	大町
2	R7.9.24	(水)	1	化合物の分類と命名法	化学	大町
3	R7.10.1	(水)	1	化合物の分類と命名法	化学	大町
4	R7.10.8	(水)	1	異性体と立体構造	化学	大町
5	R7.10.15	(水)	1	立体配座	化学	大町
6	R7.10.22	(水)	1	反応と電子のふるまい	化学	大町
7	R7.10.29	(水)	1	酸と塩基	化学	大町
8	R7.11.5	(水)	1	官能基の性質と反応	化学	大町
9	R7.11.12	(水)	1	官能基の性質と反応	化学	大町
10	R7.11.19	(水)	1	官能基の性質と反応	化学	大町
11	R7.11.26	(水)	1	生体をつくる原子・分子	化学	大町
12	R7.12.3	(水)	1	生体をつくる原子・分子	化学	大町
13	R7.12.10	(水)	1	生体をつくる原子・分子	化学	大町
14	R7.12.17	(水)	1	小テスト	化学	大町

## 講義日程表 (化学実習 I)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.4.9	(水)	3,4,5	実験ガイダンス・オリエンテーション	化学	茂里
2	R7.4.16	(水)	3,4,5	pH指示薬を用いた酸・塩基滴定	化学	茂里
3	R7.4.23	(水)	3,4,5	可視吸収法による定性と定量1(ヘモグロビン)	化学	茂里
4	R7.5.7	(水)	3,4,5	アセチルサリチル酸の精製と純度確認 (TLCと融点測定)	化学	茂里
5	R7.5.14	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた検索1 (構造生命科学実験1)	化学	茂里
6	R7.5.21	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた描画1 (ChemSketchによる描画1)	化学	茂里
7	R7.5.28	(水)	3,4,5	後片付け・復習	化学	茂里
8	R7.6.4	(水)	3,4,5	実験ガイダンス・オリエンテーション	化学	茂里
9	R7.6.11	(水)	3,4,5	pH指示薬を用いた酸・塩基滴定	化学	茂里
10	R7.6.18	(水)	3,4,5	可視吸収法による定性と定量1(ヘモグロビン)	化学	茂里
11	R7.6.25	(水)	3,4,5	アセチルサリチル酸の精製と純度確認 (TLCと融点測定)	化学	茂里
12	R7.7.2	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた検索1 (構造生命科学実験1)	化学	茂里
13	R7.7.9	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた描画1 (ChemSketchによる描画1)	化学	茂里
14	R7.7.16	(水)	3,4,5	後片付け・復習	化学	茂里

## 講義日程表(化学実習Ⅱ)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R7.9.10	(水)	3,4,5	実験ガイダンス・オリエンテーション	化学	茂里
2	R7.9.17	(水)	3,4,5	中和滴定(インドメタシンの定量)	化学	茂里
3	R7.9.24	(水)	3,4,5	可視吸収法による定性と定量2(食用色素)	化学	茂里
4	R7.10.1	(水)	3,4,5	酢酸エチルの酸加水分解反応速度(中和滴定)	化学	茂里
5	R7.10.8	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた検索2(構造生命科学実験2)	化学	茂里
6	R7.10.15	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた描画2 (ChemSketchによる描画2)	化学	茂里
7	R7.10.22	(水)	3,4,5	後片付け・復習	化学	茂里
8	R7.10.29	(水)	3,4,5	実験ガイダンス・オリエンテーション	化学	茂里
9	R7.11.5	(水)	3,4,5	中和滴定(インドメタシンの定量)	化学	茂里
10	R7.11.12	(水)	3,4,5	可視吸収法による定性と定量2(食用色素)	化学	茂里
11	R7.11.19	(水)	3,4,5	酢酸エチルの酸加水分解反応速度(中和滴定)	化学	茂里
12	R7.11.26	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた検索2(構造生命科学実験2)	化学	茂里
13	R7.12.3	(水)	3,4,5	化学関連ソフトを用いた描画2 (ChemSketchによる描画2)	化学	茂里
14	R7.12.10	(水)	3,4,5	後片付け・復習	化学	茂里